

週報 太田中央ロータリークラブ

令和1年6月7日（金） 通算第1270回 6月第1例会



会長挨拶

こんにちは。

お足元の悪い中、本日もご出席ありがとうございます。

田畑の土がばさばさに乾いておりましたが、今日は朝から、雨が降り出しましてしっかり潤いそうです。アジサイも咲きそうので植物は季節にとっても敏感で、感心しております。

梅雨入り宣言もありそうな気配で、ジメジメした天気が続くようですが皆様におかれまして体調管理にお気を付け下さいますようお願い申し上げます。



さて、今月の月間テーマは親睦活動です。親睦はロータリー活動の二大目標<親睦と奉仕>の第一の大事です。これをなくしてロータリー活動は始まりません。私は活動方針として「元気なクラブ作り」を挙げました。その原動力は「親睦」です。親睦が元気な活力のあるクラブを作り、社会奉仕を生み、そして、新たな会員を引きつけるのだと思います。ロータリー用語では、親睦は Fellowship の訳語ですが、原義は「同じ利害関係で結ばれた、友情と協力に基づく仲間意識」です。同じ釜の飯を食う仲間であるという意識のことだと思います。1905年2月23日にロータリークラブは誕生しましたが、当初から親睦は綱領の一つでした。様々な分野の職業人が集まって知恵を寄せ合い、生涯にわたる友情を培うことのできる場を作ることが創始者であるポール・ハリスの夢でした。1906年のシカゴロータリークラブの綱領の第1条：会員の事業利益の増大、第2条：親睦、でした。後に、社会奉仕が加えられたことはご承知の通りです。

いずれにしても例会出席が一番の親睦につながると思います。私は役職上出席するのは当たり前ですが、鶴飼会員におかれましては今年度も実質100%出席を維持していることに敬服しております。若い会員にもその精神を伝えていただきたいと思います。私も見習ってまいります。

終わりに、おかげ様で、今年度最終月を迎えることができました。皆様には改めて感謝を申し上げると同時に、残りの例会にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◇例会場 ダ二エルハウス 太田市飯田町895 TEL 0276-47-1222

◇例会日 金曜日 12:15~

◇事務局 〒373-0853 太田市浜町3-6 太田商工会議所会館4階12号室

TEL 0276-48-8231 FAX 0276-48-8232

EX-ル o t a - c h u o @ r i d 2 8 4 0 . j p

会 長 前原 信之

幹 事 榮井 孝広

クラブ広報委員会

委 員 長 矢島壮一郎

副委員長 田村 政一

本日の行事

1. 「6月誕生祝・創立発表」クラブ会員組織・強化委員会 副委員長 高木勝章
【誕生祝】田村政一（10日）深川博淳（13日）森田健夫（30日）
【創立】深川博淳、石塚 栄、大谷祐三、吉岡 努、家泉栄一、金井 栄
2. 「年間出席100%表彰」クラブ管理運営委員会 委員長 新野幸子
尾関正俊、蛭田義徳、荒牧功二
3. 釣り部会表彰式



幹事報告

- ①6月のロータリーレートは、1ドル=110円です。
- ②「第15回ロータリー日韓親善会議」の案内が届いております。
詳細は回覧中の案内をご覧ください。
- ③分区内の例会変更：なし
分区外の例会変更：前橋東、前橋南、桐生西、伊勢崎東、沼田
- ④会報：ガバナー月信6月号

委員会・部会・地区委員 報告

- ①ロータリー財団 委員会「R財団・ポリオ・米山記念奨学寄付者報告」委員長 荒牧功二
- ②クラブ広報 委員会「ロータリーの友6月号紹介」委員長 矢島壮一郎



クラブアッセンブリー 「会長1年間のまとめ」会長 前原信之

1年間大変お世話になりました。RIの「インスピレーションになろう」のテーマのもとにスタートさせていただいた本年度でしたが、西日本集中豪雨などの自然災害の発生や、オウム真理教事件の首謀者の死刑執行など暗いニュースが多い中、一方で2020年東京オリンピックのマスコットキャラクターの決定により、オリンピックムードが高まってきた中での船出でありました。

10月には地区補助金事業、未来の夢計画である、台之郷平地林植樹事業を行いました。森田年度で計画がすすめられた事業であり第4分区A、5クラブの共同事業でした。日曜日にもかかわらず参加された会員にはご足労をいただきました。現在は雑草がすごいことになっているようですが、樹木の生育を楽しみにしています。

11月の移動例会は、榮井幹事企画でツインリンクもてぎで開催された全日本GT選手権第5戦の観戦とモータースポーツを通しての自動車産業の在り方を学んでまいりました。

私事で恐縮ですが20数年前このレースシリーズが始まった頃に私前原はプライベートとして参戦した実績がありましたが、今回の観戦では随分クルマも人も興業としてもレベルが上がっていると実感して来ました。

今年2月には、福島第1原発周辺の視察に出かけました。遠路バスによる日帰りでの視察ということで参加された会員は疲れる1日となりましたが、内容の濃い視察であり、いまだ復興へのめどが立っていないことを目の当たりにしてきました。

同じく2月の太田5ロータリークラブ合同親睦例会では我がクラブがホストクラブとなり皆様のご協力によって盛会に終わることができました。

4月には、第4分区10クラブゴルフコンペを我がクラブがホストしました。

早朝からゴルフの参加から設営、おもてなしまで会員の皆様には大変ご協力をいただきました。

このようなホストが回ってくるのはしばらく先になると思いますが、順番の時まで忘れないようにしたいと思います。

その翌週には、新潟中央ロータリークラブとの合同例会に参加し、ゴルフと観光、共に想いで深い移動例会でありました。

地区においては、ライラ委員会に田村会員に出向していただき、大活躍であったと聞いています。田村会員には引き続き2年間出向していただく予定となっております。

何よりも忘れられないのは、上期に、初代会長、滝本俊雄会員享年90歳と下期には、第10代会長、金井伴幸会員享年67歳の2名のチャーターメンバーを失ったことであります。今でも、すぐそこにいそうな気がしています。あらためてお悔やみを申し上げます。

会員増強という点に関しては55名でバトンを渡されたものの現在53名の純減2名となっており、会員拡大の難しさ、私の不徳を痛感しております。ラストスパートとして2名の入会希望者を把握しておりますがこの後の手続きを経て、上手くすれば55名と、もとに戻して次年度萩原会長に引き継げると目論んでおりますが、当初目標である純増2名には遠く及ばなかったことは会長として未熟の至りだと反省をしています。今後増強に関しては、組織を横断して新入会員候補者のリストのようなものを常にプールしておいて、何年かを掛けて勧誘していく不断の努力が必要なのではないかと感じています。松本釣部会長には新入会員勧誘リストを作ってくださいながらも純増に至らなかったことは誠に申し訳なく思っております。

数値目標のもう一方、寄付目標に関しては、5月末現在で、米山72%、ロータリー財団57%、ポリオ56%といずれも大きく未達成であります。例会への出席率と密接に関連する数値であります。私の方針にも掲げた出席率の向上、何より例会全欠席者を無くすという目標未達成が大きく影響しているものと思います。誠に申し訳ありません。

寄付目標についてはこの後も努力を続けます。会員によっては送金できる金額までもう少しの方がいらっしゃいますので、個別に相談させていただこうかと思っております。

最後になりましたが、私の心身ともに支えとして頼らせていただいた幹事の榮井君には忙しい中を1年間に渡り未熟な会長を支えて戴き感謝をしています。また事務局の栗田さんにも多くの場面で助言をしてもらい、また先輩方には多くのアドバイスをいただき、ふらつきそうだったクラブ運営を軌道修正してもらったことが何回もあったことに改めて感謝をいたします。1年間、委員長さん方をはじめ、会員の皆様の御協力に深甚なる感謝を申し上げ、会長の1年間のまとめとさせていただきます。大変お世話になり、ありがとうございました。

●「各委員長1年間の報告」クラブ広報委員会 矢島壮一郎